

苗場山

苗場山は、標高 2,145m の、日本 100 名山に数えられる秋山郷のシンボリックな存在です。山頂は、信越県境にまたがる周囲 10 km に及ぶオオシラビソの原生林に囲まれた広大な高層湿原で、大小無数の池塘（高層湿原に点在する小池）が点在しています。



《苗場山》



《池塘》

「苗場山」という山名は、この池塘が「たんぼ」にたとえられたことに由来するとも言われています。

苗場山山頂からの眺めも素晴らしく、烏甲山や笠法師山、北アルプス連峰や南アルプス連山などが一望できます。

自然体験交流センター

山頂には、「苗場山自然体験交流センター」があります。そのログハウス風の建物は、床面積 230㎡、定員 92 名の宿泊施設が完備されていて、苗場山を訪れる登山者の自然体験拠点として利用されています。

※利用料金がかかります。

※要予約

【予約受付】秋山郷観光協会
0257-67-2202

【営業】：6月1日～10月下旬



苗場山で見ることができる高山植物



花期：7月～8月
ミズイチョウという別名もある。和名は葉の形が銀杏に似ていることに由来する。「イワ」は生息地を表すが、岩場には少ない。しばしば湿気や雪田周辺に大群落をつくる。



花期：6月～7月
白い花や真っ赤に熟す実が、かわいらしい。白い花のように見えるのは繸苞片（そぼうへん）（花弁を支える部分）で、花はその中心部に十数個がかたまつてつく。



花期：6月～7月
シロバナシャクナゲの別名もある。白い花（花冠）の内側には緑の斑点が入り、地域によっては紅色がさす。八重咲きの変種はネモトシャクナゲと呼ばれる。



花期：5月～7月
和名は白根山（栃木県日光）に多いこと、葉の形が葵に似ていることに由来する。高山というよりも日本海側のブナ林白馬岳などの雪渓わきのように湿った傾斜地に多い。日本特産。



花期：7月
和名は、放射状に生える葉の姿を高貴な人にさしかける衣笠に見立てたもの。一見ツクバネソウに似ているが、葉が大きく、7～10枚輪生した葉の直径は30～4cmにもなる。日本固有種。



花期：6月～7月
日本固有の植物。山地で見られるイワカガミの高山型で、母種よりも全体的に小さい。和名は、岩場に生え、光沢のある葉の鏡に見立てたことに由来する。



花期：6月～8月
実に生えた羽毛状の毛が輪状に並ぶ姿が、こどもが遊ぶ風車に似ていることからその名前がついた。花、実、紅葉ともに鮮やかで、高山植物を代表する種。実は風によって運ばれる。



花期：6月～7月
スズメノケヤリという別名もある。ワタスゲといえは、湿原にゆれる綿帽子を思い浮かべるが、これは花期を終え、実（果穂）をつけた姿である。



花期：6月～7月
尾瀬や戦場ヶ原の湿原が生育地として知られる。小さな葉の形がシャクナゲに似ているところから和名が付けられている。属名アンドロメダはギリシア神話の王女の名で可憐な花の姿にちなむ。



花期：6月～8月
ゼンテイカという別名もある。霧ヶ峰、尾瀬、月山など有名な大群落地が多い。花は朝に開花し、夕方にはしぼむ一日花。おしべとめしべは上向きにそる。日本固有種。

栄区役所地域振興課（栄区桂町303-19）

平成27年8月作成

Eメール：sa-chishin@city.yokohama.jp

電話番号：045（894）8395

FAX：045（894）3099

